

平成28年度がん対策予算案の概要

平成28年度予算案 356億円（平成27年度予算額 318億円）

参考資料19
厚生労働省資料

基本的な考え方

「がん対策加速化プラン」に基づき、「予防」「治療・研究」「がんとの共生」を3本の柱として、がん対策を加速化する。

1. がんの予防

187億円(182億円)

- 改・新たなステージに入ったがん検診の総合支援事業 →(ページ1) 14.7億円
 - がん対策推進企業等連携事業 0.9億円
 - 新・がん検診従事者研修事業(胃内視鏡検査研修) →(ページ2) 0.6億円
- 【平成27年度補正予算案】
- 新たなステージに入ったがん検診の総合支援事業(受診意向調査) 5.0億円
- ※上記のほか、肝炎対策関係の予算159億円が含まれる。

2. がんの治療・研究

158億円(129億円)

- 新・がんのゲノム医療・集学的治療推進事業 →(ページ3) 1.2億円
- 改・小児がん拠点病院機能強化事業(がん診療連携拠点病院機能強化事業) →(ページ4, 5) 3.0億円
- 改・小児がん中央機関機能強化事業(がん診療連携拠点病院機能強化事業) →(ページ4) 0.6億円
- 新・希少がん医療提供体制等強化事業(国立がん研究センター委託費) →(ページ6) 0.8億円
 - がん診療連携拠点病院機能強化事業 19.0億円
 - 地域がん診療病院等機能強化事業 1.0億円
- 改・がん登録推進事業(国立がん研究センター委託費) →(ページ7) 6.6億円
 - 都道府県健康対策推進事業(がん登録部分) 6.2億円
 - 都道府県健康対策推進事業(相談支援部分等) 3.5億円
- 新・がん対策評価検証事業(国立がん研究センター委託費) →(ページ8) 0.1億円
 - 革新的がん医療実用化研究等(※厚生科学課計上) 84.0億円

3. がんとの共生

11億円(8億円)

- がん患者の就労に関する総合支援事業(がん診療連携拠点病院機能強化事業) 1.8億円
- 新・地域緩和ケアネットワーク構築事業(国立がん研究センター委託費) →(ページ9) 0.1億円
- 新・がん医療に携わる看護師に対する地域緩和ケア研修等事業 →(ページ10) 0.2億円
 - 緩和ケア推進事業(がん診療連携拠点病院機能強化事業) 2.3億円
 - 都道府県健康対策推進事業(緩和ケア部分) 1.2億円
 - がん医療に携わる医師に対する緩和ケア研修等事業 1.2億円

(再掲)

- がん診療連携拠点病院機能強化事業(全体) 27.7億円
- 都道府県健康対策推進事業費(全体) 10.8億円

※がん・疾病対策課計上の主な事業を記載。 ※複数の柱に重複する事業については、主な柱に一括して計上。
※計数は、それぞれ四捨五入によっているので、端数において合計と合致しないものがある。